



1

WEBで応募する場合

応募フォームに必要事項を入力のため、作品及び下記の表紙1枚目(あらすじ等)を添付し提出してください。※作品のファイル形式はWord又はPDFで添付してください。

2

郵送で応募する場合

作品原稿の上に、下記の表紙1枚目～3枚目を添えてお送りください。

表紙1枚目～3枚目に記載する必要事項

☐ 応募区分 中高生部門は生年月日、海外部門は国籍も記載してください。 ☐ タイトル ☐ あらすじ（800字以内）	☐ ペンネーム（ふりがな） ※本名も可 ☐ 作品のジャンル ☐ 純文学 ☐ SF ☐ 時代 ☐ その他 ☐ ミステリー ☐ ファンタジー ☐ 青春 ☐ ホラー ☐ 歴史 ☐ 恋愛 御自身の作品に一番近いものを1つ選択してください。 できる限り「その他」以外の選択框からお選びください。 ☐ 作品の総文字数 中高生部門は、400字詰（20字×20行） 原稿用紙換算枚数を記載してください。 ☐ 略歴（学歴、職歴、筆歴など） ☐ 生年月日（西暦） 一般・海外部門の方は任意です。 [応募作品の掲載歴等がある方のみ] ☐ 掲載したURL又は発表した同人雑誌、 自費出版物等の名称	☐ 本名（ふりがな） ☐ 住所 ☐ 電話番号 ☐ Eメールアドレス ☐ 性別 [任意] ☐ 職業 [任意] ☐ 京都文学賞に関するアンケート [任意]
--	--	---

【賞の内容】

一般部門	最優秀賞1点：賞金 100 万円、出版化 優秀賞 1点：賞金50万円
中高生部門	最優秀賞1点：図書カード10万円分 優秀賞 1点：図書カード5万円分
海外部門	最優秀賞1点：賞金10万円
全部門対象	読者選考委員賞1点（副賞なし）

上記の賞のほか、最終選考会における議論の結果、賞を贈ることがあります。

【発表】

一次選考	令和7年7月下旬頃に、選考結果を 京都文学賞ホームページ上にて発表します。
二次選考	令和7年9月下旬頃に、選考結果を 京都文学賞ホームページ上にて発表します。 日、選考を通しなかった作品の 随易な選評を掲載します。
最終選考	令和7年12月1号と令和8年1月頃に、受賞者へ 直接通知するほか、選考結果及び選評を 京都文学賞ホームページ等で発表します。

【表彰式】令和8年1月(予定)

京都市内の会場にて、受賞者のほか、選考委員等を招いて実施します。

【最終選考委員】 いしいしんじ(作家)、西加奈子(作家)、校條剛(作家・評論家)、読者選考委員の代表ほか



これまで、さまざまな作品が寄せられてきました。職人の葛藤、野球に懸けた青春、映画への情熱、外国人の彷徨、平安貴族の恋、幕末の志士たちの声、大学生の与太話……。すべてをうけとめる、希有な場が京都です。今回はどんな物語が、この街をいどるのでしょうか。



例え皆が見知ったもののようでも、あなたが書くことで初めて存在する景色や出来事があるはずです。そんな京都を、そして世界を読みたいと思っています。



これまで四回の受賞作のジャンルは、歴史時代もの、純文学現代もの、ファンタジー現代もの、そしてエンタメ現代ものも多勢であることが分かります。つまり、京都文学賞は殆どすべてのジャンルに門戸を開いているということになるのです。応募のジャンルで迷っているあなた、得意ジャンルで勝負すればいいのですよ。

京都大学文学部弘文学科卒。1994年『阿姆斯特
ダムの犬』でデビュー。『麦ふみクーツェ』（坪田譲治
文学賞）、『ある一日』（橋田作之助賞）、『悪声』（河
合雄雄物語賞）など著作多数。21年『源氏物語』の
「京ことば」訳「げんじものがたり」、22年『書ことば
しない「かく」教室』刊行。

2004年『あおい』でデビュー。『通天閣』(織田作之助賞)、『ふくわらい』(河合隼雄物語賞)、『サラバ!』(直木三十五賞)、『くもをさがす』(読売文学賞随筆・紀行賞等)など著作多数。23年に短編小説集『わたしに会いたい』刊行。

早稲田大学第一文学部卒。「小説新潮」編集長時代に、様々な文学賞を創設。元京都造形芸術大学文学芸表現学科教授。著書に『ぬけられますか 私漫画家 滝田ゆう』（大衆文学研究賞）、『ザ・流行作家』、『作家という病』、『にわか（京都人）宣言』、『小説作家の殺人』『富士日記の人物と』など。

〔応募作品の著作権等〕

- 応募作品の著作権は応募者に帰属するものとします。
- 受賞作品については、そのあらゆる作品の一部を主催者のホームページや新聞、その他の発行物において掲載することがあります。
- 受賞作品の出版に当たっては、著作権を持つ応募者が出版を希望する協力出版社からの提案を基に、実行委員会と協議のうえ、出版社を決定するものとします。
- 選考及び記録に必要な範囲で主催者において応募作品を複製することがあります。

[注意事項]

- 応募は一人一編とします。
- 応募後の作品の訂正、返却依頼は受け付けません。必要な方は予めコピーをしておいてください。
- 作品の選考に関するお問合せには応じられません。
- 応募により得た個人情報については、本文学賞に関するもの以外には使用しません。

「世界文化自由都市宣言」四十周年を契機に創設され、今回で第五回を迎える京都文学賞では、第一回から受賞作の出版化に取り組んでいます。これまで『羅城門に啼く』『屋根の上のおばあちゃん』（第一回）、『鴨川ランナー』（第二回）、『ビボウ六』『ちとせ』（第三回）と、受賞作五作が協力出版社から刊行。第四回の一般部門最優秀賞作「危険球」も令和六年中の出版が予定されています。受賞者の皆さんは、その後も、新たな作品の刊行や更なる受賞など、それぞれ活躍の場を広げています。

「世界文化自由都市・京都」から、次に作品を送り出すのは、あなたかもしれません。まずは、あなたが思い描く京都をひとつの言葉や文章にしてください。それは、あなたにしか書けない物語の大切な種となり、いつか大きな花が咲くはずです。

【募集作品】

- 京都を題材とする「小説」とし、純文学、時代小説、ミステリー等ジャンルは問いません。
- 日本語で書かれた自作の作品で、未発表のものに限ります。

ただし、インターネット上で掲載された作品や、同人雑誌、自費出版物等で発表された作品については、営利を目的としないものに限り、未発表とみなし応募を受け付けます。その場合、必ず掲載又は発表した媒体名を明記してください。

- 彼の文学賞との二重投稿及び過去に入選した作品の応募は禁止します。
- 第三者の著作権、その他の権利・利益を侵害したり、そのおそれがない作品に限ります。
- 引用文献や参考文献がある場合、その出典等を必ず明記してください。

【応募区分・資格】

- 「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門を設け、プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集します。
- 「一般部門」については、年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募することができます。
- 「中高生部門」については、2006年4月2日以降に生れた方々を対象とします。
- 「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する方を対象とします。

【応募規定】

作品分量

※ルビ、注釈、参考文献は文字数に含みません。

一般部門	パソコン原稿	28,000字以上 160,000字以内 ※手書き原稿不可
中高生部門	パソコン原稿	400字詰(20字×20行)原稿用紙に換算し20枚以上150枚以内 ※提出原稿は右記の書式(30字×40行)を使用のこと
	手書き原稿	400字詰(20字×20行)原稿用紙で20枚以上150枚以内
海外部門	パソコン原稿	8,000字以上 60,000字以内 ※手書き原稿不可

!

生成AIの使用について

想・プロットの創作手順として、推定・プロット作成→本文執筆→推敲が挙げられますが、作品の「本文執筆」及び「推敲」段階での生成A→人工知能の使用は不可とします。（ただし）作中に登場する生成A→の言葉を表現する場合、客観的かつ適切な理由がある場合を除く。）また、「プロット作成」等で活用された生成Aによる生成物をもそのまま活用することは原則不可としますが、あくまでも参考の一助としてください。

原稿の書式

パソコン原稿 ※京都文学賞ホームページからダウンロード可
A4判、横長、マス目なし／30字×40行／縦書き

手書き原稿（中高生部門のみ）
A4判、横長／400字詰（20字×20行）原稿用紙／縦書き
※消せるボールペンや鉛筆での記入は不可。濃くはっきりと読める字で丁寧に記してください。

- 誤字脱字、表記ミスなどの確認のため、作品を読み返ししてから御応募ください。
- 作品本文ページの左上に当選番号(ページ番号)を入れ、郵送の場合は右肩をクリップで綴じてください(ホチキス留めは不可)。
- 中高生部門・海外部門で御応募いただいた作品が、一般部門の作品分量を満たしており、かつ最終選考まで残った場合、最終選考委員の意見により、一般部門において選考を行うことがあります。

作品募集要項